

桜美林学園交流会に参加して（報告・感想）

2013 年(平成 25 年)8 月 24 日・25 日

松本孝太郎

清水安三先生顕彰会の研修・交流事業として企画された桜美林学園訪問に参加させていただきました。学園では清水畏三名誉学園長先生より「清水安三先生の足跡」についてお話をお聞きし、安三先生の偉大さに今更ながら感激し、先生のご功績をもっと勉強しなければと感じました。

翌日は学園内を説明をお聞きしながら案内していただきました。

いたるところで安三先生の人間教育にかける息吹を感じさせられました。頂戴した安三先生説教・講話集「せん方尽くるとも」の桜美林学園の精神で中江藤樹・二宮金次郎の話が出てきますが、お二人の銅像があったのには驚きを感じ、何処にも無い藤樹先生のにこやかなお顔をした藤樹像を拝見した時にはびっくりし、改めて藤樹先生について考え直さなければと感じました。

高橋敏枝

8 月の終わり、緑につつまれた復活の丘・教会・石ころ庵をスタートに安三先生が日本に帰られてからの足跡をたどるべく桜美林学園の門をくぐりました。立派な校舎 1 つ 1 つに安三先生の思い・夢があふれていました。中国から帰国し、心折れることなく大きな夢を開花された安三先生の教育にかける熱意や信仰の深さを改めて知ることができました。

交流会では学校関係者の方も多く参加されており、自己紹介で語られる安三先生とのエピソードの数々。安三先生とは、こんなにも多くの人にインパクトを与え、愛し愛されたチャーミングでユーモアあふれた方だったことを知り、先生のご存命中に是非お出会いしたかったものだと残念でなりません。清水安三という人をもっともっと知りたいと思ったのは私だけではないと思います。多くの人に伝えていく使命も課せられた思いの二日間でした。

海東英和

この度、清水安三先生顕彰会入会と、桜美林学園訪問の機会をWで賜り感謝いたします。ちょうど市民劇で安三先生を演じる大役を仰せつかり、七月から台本読みを重ねる中で、最適のタイミングでチャンスを頂きました。

桜美林の皆さんは、大変親しく和やかで、品性が高い。安三先生を慕う歓びが共鳴して、良い心が増幅していると感じました。見習いたい姿です。

今回のハイライトは、安三先生のご次男である畏三先生のお話。戦火が迫り、北京駅で別れる時に涙した思い出や、安三先生が危険を恐れず戦火の北京に残り活動されたこと。ジャーナリストとして卓越し、善き異端者であったこと。美穂先生が臨終の際に「皆様万歳」と仰ったことや、玉音放送を聞いた後、朝鮮国独立万歳と唱和し、中国・朝鮮の人々が日本万歳と返してくれたこと。安三先生は、結構激しい気性でもあったこと等、貴重な資料を準備して冷静な語り口でお話してくださいました。

神の僕として夢を語り、一心に突き進む安三先生と、経営実務を担い今日の桜美林を築き上げて来られた畏三先生との、創業者と継承者の絶妙なる役割分担と、御苦労の質の違いが感じられました。特に、安三先生が郷里新旭に桜美林短大の建設を熱望され、準備が進んでいたのに、学生が集まるのかとブレーキをかけたこと。息子として経営者として、あれでよかったのかと今も気にし続けておられる畏三先生的心情が垣間見えました。資料館の展示の印鑑箱の中には、「近江桜美林学園」のゴム印がひっそり納められていました。

「せん方尽くれども、希望を失わず」と前を向き祈り且つ働き続けた気概を継承せねばなりません。イエス様ならどうされるか、新島襄なら... と祈り考えた安三先生の様に、私達も藤樹先生ならどうされるか、安三先生なら... と考えることができます。

12月7日、8日の市民劇「木槿の花の咲くころ」の舞台で、清水安三の魂に迫れるよう、楽天的かつ積極的に稽古を重ねます。ご支援、お力添えをお願い申し上げます。ありがとうございます。

堀 久好

桜美林学園の訪問を機会に、私なりに「名誉町民：清水安三先生と自治体の取り組み」を振り返ってみました。

○新旭町長：桑原隆次氏

- ・ 1975 年（昭和 50 年）新旭町制 20 周年記念 新旭町名誉町民の称号
戦後、清水安三先生は生まれ故郷に美世図書館や美世幼稚園を開設。
郷土のために尽くされた功績により「名誉町民」の称号が贈られる。

○新旭町長：岡田巖氏

- ・ 1985 年（昭和 60 年）奨学金制度の創設
清水安三先生からの寄附を原資とし、優れた人材の育成を図るため清水安三育英資金貸付基金を創設。経済的理由により就学することが困難な青少年に育英基金の貸し付けが始まる。（高島市においても継承されている）

○新旭町長：馬場佐武郎氏

- ・ 1995 年（平成 7 年）新旭町制 40 周年記念 中学生日中友好の旅
北京の聖者と称された名誉町民：清水安三先生の生き方に触れ、国際感覚豊かな青少年の育成を目的として、北京市陳経綸中学校へ湖西中学校の生徒を派遣する「中学生日中友好の旅」を開催。以後、継続して中学生を派遣。

○新旭町長：海東英和氏

- ・ 2000 年（平成 12 年）「中学生日中友好の旅」団長として参加
陳経綸中学校、桜美林中学校、湖西中学校の三校兄弟交流を促進。
- ・ 2004 年（平成 16 年）第 6 回「中学生日中友好の旅」に併せて、町民を北京市に派遣する「名誉町民：清水安三先生顕彰の旅」を開催。

○高島市長：海東英和氏

- ・ 2005 年（平成 17 年）
「中学生日中友好の旅」参加者を市内 6 中学校に拡大して開催。

最初のリーダーが土地を耕し、次のリーダーが種をまき、成長を見守り、育ててきたことで、いま最初の収穫期を迎えているように思います。その一つが清水安三先生顕彰会であり、清水安三物語の高島市市民劇上演実行委員会ではないでしょうか。このバトン・タッチは見事であったと思います。

さて今回、桜美林学園を訪問させていただきました。学園の皆様には大変温かく迎えていただき、そして改めて郷土の偉大な先人に触れ、その生き方を通じて物の見方、考え方を学び、志を励ますことができました。全てが清水安三先生の「おかげ」と心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。